



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

12月定例会はじまる

近藤区政の暴走を許さない

日本共産党



写真は足立区役所

知る権利、表現の自由奪う
秘密保護法案は必ず廃案を

第4回足立区議会定例会は12月3日から
はじまりました。20日まで開かれます。
日本共産党は国会での安倍内閣の暴走政
治と対決し、暮らしと民主主義を守る「一
点共闘」を上げ、悪政阻止と政治の転換を
迫る奮闘とともに、足立区では近藤区政の
学校統廃合、外部委託、使用料の値上げの
区民いじめの暴走を食い止め区民の暮らし
を守れの質問を行いました。
代表質問の要旨をお知らせします。

日本共産党の代表質問は、区長
の政治姿勢について(1)国会に
提出された秘密保護法案は、なに

報も国民の目から隠され、ネット
を見て知らないうちに秘密情報に
ふれたと突然逮捕されたり、ジャー
ナリストの取材も処罰の対象にな
り、国政調査権も事実上奪われる
と明らかになりました。
外交や防衛だけを対象にするの
ではなく、国民の知る権利、表現
の自由を侵害する大問題と思うが、
区長はどう考えるか。
(2)戦争する国づくりを進め、
国民の目、耳、口をふさぐ「秘密
保護法案」に、日本弁護士会連合
会、日本新聞協会、日本ペンクラ
ブをはじめ、各界各層から立場を
超えて廃案や慎重審議を求める声



デモを「テロ」と扱う 石波発言
国民を弾圧する本質あらわに!

が急速に広がっている。近代民主
主義と相容れないこの法案に、区
長も反対の意思を示すべきと思う
がどうか。

2、消費税の増税について質問
(1)区長は消費税について「社

会保障制度を持続可能なものとす
るために必要な財源と認識し、
バランスに配慮して税制改革は行
われるべき」と答弁している。

しかし、社会保障財源のなかで
消費税の占める割合は、諸外国と
比べてみるといまでも同じなのに、

日本共産党

消費税が8%、10%になれば飛び
ぬけて高くなる。バランスに配慮
した税制改革とは言えないのでは
ないか。

(2)真に社会保障制度を安定し
た持続可能な制度にしていくには
「能力に応じた負担」を原則に、
富裕層、大企業に応分の負担を求
めていく税財政の抜本的改革と、
安定した雇用と賃上げ、中小企業
などへの抜本的

12月定例議会の日程

9日(月)	総務委員会:午前10時	
10日(火)	区民委員会:午前10時	
11日(水)	議会運営委員会: 午前10時	本会議(4日目): 午後1時
12日(木)	産業環境委員会: 午前10時	
13日(金)	厚生委員会:午前10時	建設委員会: 午後1時30分
16日(月)	文教委員会:午前10時	〔会期中請願締切日〕
17日(火)	交通網・都市基盤整備 調査特別委員会: 午前10時	子ども施策調査特別委 員会:午後1時30分
18日(水)	災害・オウム対策調査 特別委員会:午前10時	生活保護・高齢者生き がい対策調査特別委員 会:午後1時30分
19日(木)	議会運営委員会: 午前10時	
20日(金)		本会議(最終日): 午後1時

2面につづく



区はその影響や人数
指摘し続けてきたが、
制度に影響が出ると
引下げに伴い様々な
党は生活保護基準の
(1)この間、わが
引下げの影響につい
て
2、生活保護基準の

基金総額1046億円 区政のあり方が問われる

1面よりつづく

な支援策で、国民の所得を増やし内需を拡大する経済改革が必要だと思つがどうか。
1、生活保護法改定案について。日本の生活保護制度は、本来受給できる人の16% (捕捉率)しか受給していない。国連から日本政府に対し「恥辱のために生活保護の申請が抑制されている」ことに懸念が示され、「申請を簡素化」するなど求める勧告も出されている。今回再提出された生活保護法改定案は、保護申請に「書類提出」を義務づけたたり扶養義務の強制で、申請にきた人を「門前払い」する「水際作戦」を「合法化」する生活保護制度始まって以来の大改悪で、生存権を侵すことになりかねないと思うがどうか。

について明らかにしてこなかった。生活保護基準は最低賃金や住民税非課税限度額の算定、就学援助など国民の生活を支えるさまざまな制度の“物差し”となっている。厚生労働省は生活保護基準の引き下げに伴い、38の制度に影響が出るとしている。引き下げから4カ月が過ぎた今、区はいくつの制度で何人が影響の出る対象になると考えているのか。
(2)生活保護引下げの影響については、各部で対応がばらばらで、全庁的な取り組みになっていない。区として生活保護基準引き下げに伴った各種サービスの切り下げはしないという姿勢が見られない。各種負担軽減基準や就学援助基準の実質的な切り下げにならないよう、各部が包括予算で対応するのではなく全庁的に取り組むべきと思うがどうか。その他、高齢者医療、新たな開発すすめるエリアデザイン、いじめ問題、学校統廃合、外部委託、災害対策など質問しました。

住民賛歌

10 伊藤和彦

希望ある未来をつくろう

表現の自由と基本的人権を侵害する希代の悪法・秘密保護法案は、日弁連、学者、研究者、作家、テレビのキャスター、マスコミ・映画関係者、俳優、国際人権NGOなどが立場の違いをこえて反対し、廃案を求める声は空前の広がりです。国会では日本共産党・仁比聡平参院議員が「法案の骨格そのものに、

国民主権と言論表現の自由をはじめとした基本的人権の保障、平和主義という、侵してはならない憲法原理と両立しない重大な危険性がある」一般国民も対象、国民監視の仕組み、国会議員も対象にするもので、今国会で強行することは「国民に押しつける資格など政府にも国会にもない」「国権の最高機関たる国会の自殺行為」と厳



しく指摘し議場を圧倒しました。

11月末に緊急街頭宣伝・竹ノ塚駅夕方の行動は15人を超える人が「黙ってはいられない」とピラ配布を行い、私もマイクを持ち訴え続けました。「戦前の暗黒政治と同じだ、怖さを感じる」怒りの声、「共産党がんばって」の声。参加したMさん、Sさん、Kさんらの奮闘で200枚のピラはすぐに完了しました。

「自共対決」の新しい時代。その角度から情勢の見方、たたかいの方向を明らかにした日本共産党です。参院選での躍進を一過性に終わらせず、ゆきづまった自民党政治から「国民が主人公」の日本共産党を大きく強く発展させようと、確信を持って奮闘している地域住民の姿がありました。(終わり)



上の写真は8月22日撮影
写真下は9月26日に撮影
したもの雑草が刈られた。



都市農業公園は、指定管理者になってから草ぼうぼうで清掃がやられていない問題を建設委員会で日本共産党(伊藤)が指摘し議論となり、9月26日委員会として現地視察。会社は利益を生み出すために人件費削減、質の低下「共産党が言ったのは間違い」ではなく慌てて清掃したことが確認されました。民家の周りに花壇がなくなりました。